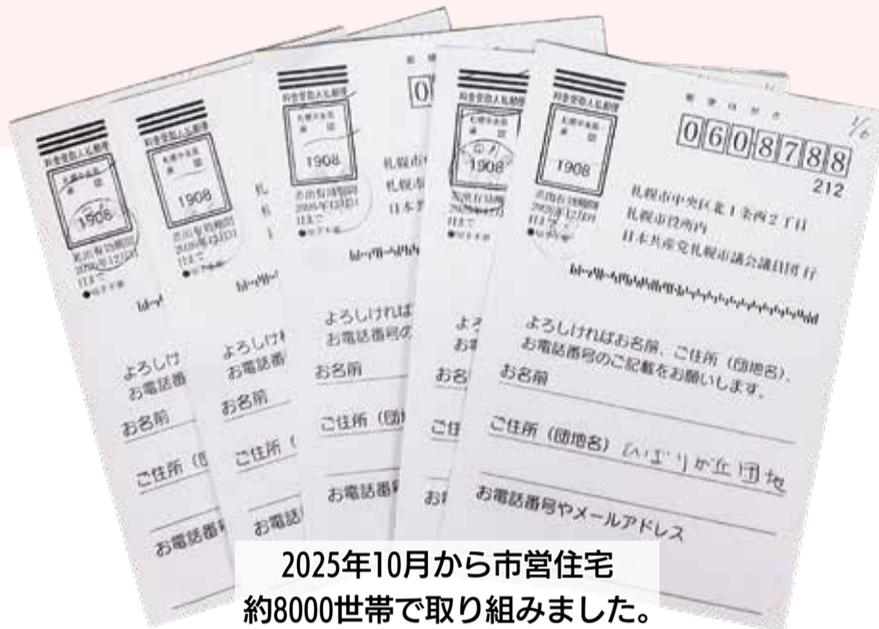


市営住宅アンケートにご協力いただき、ありがとうございました

家賃値上げ反対、住環境の改善望む声多数

党市議団は家賃値上げとなる市営住宅を中心に入居者へアンケートを実施。2025年末まで約550通の回答が寄せられました。集計結果についてご報告させていただきます。



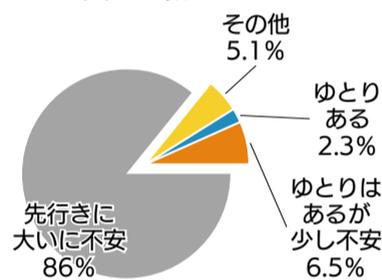
2025年10月から市営住宅約8000世帯で取り組みました。

くらしの困難をより深刻に

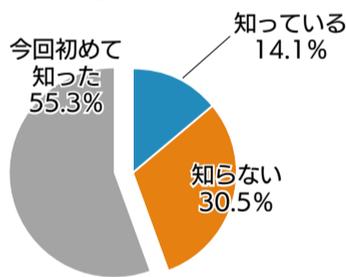
「電気・ガス・食料品などあらゆる生活必需品が値上がりする、こんな時に家賃まで」「駅からの距離で家賃値上げおかしい。古い建物でカビも湿気もひどい。建てかえて新しければまだわかる」という怒りの声が寄せられました。



① くらしの実感を教えてください



② 値上げを知っていますか



入居者不在の値上げ中止を

値上げを知らなかったという入居者は85%にのぼりました（グラフ参照）。意見表明の機会がないまま、周知も値上げが決まってからというのでは、入居者不在です。計画は見直すべきです。

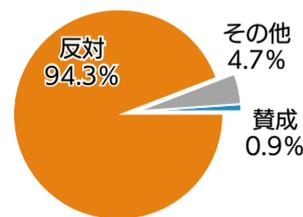


値上げ反対が94.3%と圧倒的

「自己負担となっている修繕費を何とかして」「外出の頻度で個人差がある」「バス路線の廃止・減便で利便性が低下したら値下げとなるのか」。市は、駅近、環境性能、エレベーター設置の利便性を家賃に反映させたと説明しますが、便益や住環境の考え方には疑問が寄せられました。



③ 家賃値上げをどう思いますか



さっぽろ市政だより

市営住宅アンケート結果報告
(2026年3月発行)



日本共産党
札幌市議団

値上げ計画やめ、 居住環境の改善優先に

党市議団は、市営住宅問題をくりかえし取り上げてきました

結露やカビによる破損、修繕で入居者負担見直しを

結露で傷んだ畳や壁のカビなどの修繕費用は入居者負担とされていますが、道営住宅では、道の担当職員も直接、現場を検証し修繕費用も北海道が負担しています。

池田由美議員は2025年10月の決算特別委員会で、築年数が古ければ、断熱基準も低く結露は住宅性能に起因して発生しやすいと指摘。現在、入居者の責任としている修繕区分を見直すよう求めました。



部屋寒く、結露も発生＝白石区内市住



募集戸数の抑制やめて入れる市住に

応募申込数に対する市営住宅の募集戸数は10分の1以下です。市住の建設、民間住宅を借り上げて市営住宅としてきた借上げ市住の全廃方針の見直しで、応募数の増加にみあう市営住宅の確保を求めます。

空き家修繕を急ぎ入居可能に

党市議団は、市住の建設や退去後の修繕を早めて入居可能な戸数を増やせと要求。灯油を自動で上の階へ引き上げるオイルサーバーの設置などを秋元市長に要望しています。



26年度予算要望書提出

市営住宅にお住いのみなさんのご意見を市政に生かします

1. 値上げは段階的（4年間）に実施され、最終の29年度は値上げ幅が最大になります。入居者の家計を直撃する家賃値上げに反対します。
2. 値上げについて、「反対」が94%、値上げを「知らない」「知らなかった」が8割超えました。市民の理解や納得は得られていません。市民不在の計画は見直すべきです。
3. 住宅は生活の基盤です。単身高齢者、若年層の入居拡大など、引き続き市営住宅の入居や居住環境の改善にむけて全力で取り組みます。